

錠剤粉砕補助器具の開発（製品名：ハルカトバズ）

■支援の概要

乳棒を用いながら、錠剤の飛散を抑える簡便な補助器具を開発しました。

■背景と機器の概要

基幹病院の入院患者向けの調剤現場では、一日に多くの薬剤を調剤する必要があります。限られた人員で「正確さ」と「スピード」が要求されます。中には錠剤を服用できない患者さんへは、錠剤を粉砕・調剤を行いますが、乳鉢と乳棒で粉砕する際に、錠剤が飛散する可能性があり、一度飛散すると調剤の分量に影響があるため、最初から調剤をやり直すなど時間のかかる場合があります。錠剤の自動粉砕機なども販売されていますが、高価で導入できない病院が大半でした。

誰もが使えて、錠剤の飛散を防ぐ器具が欲しいという山口大学医学部薬剤部の現場ニーズから錠剤粉砕補助器具「ハルカトバズ」を開発しました。

■支援の項目

- ① 形状デザイン検討
- ② 素材の選定
- ③ 評価方法支援



意匠登録1644126号

■支援の成果

形状をできる限り単純なものにすることで、粉砕時の使用方法に複数の選択肢を持たせないように工夫することで、誰でも直感的に同一の使用方法が選択される形状にすることに成功しました。これによって、効果的に薬剤の飛散を防止することができ、しかも単純な形状のため洗浄が容易で清潔に保つことも容易です。

本製品は、山口大学医学部附属病院薬剤部との共同開発によって得られた成果です。

発売日 令和元年10月13日